

全般 1か月予報

(8月30日から9月29日までの天候見通し)

平成26年8月28日
気象庁 地球環境・海洋部発表

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

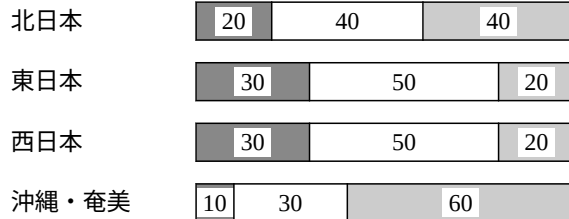
北・東日本と西日本日本海側は、天気は数日の周期で変わるでしょう。西日本太平洋側と沖縄・奄美は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の平均気温は、北日本で平年並または高い確率ともに40%、東・西日本で平年並の確率50%、沖縄・奄美で高い確率60%です。降水量は、北・東日本日本海側と西日本で平年並または少ない確率ともに40%です。

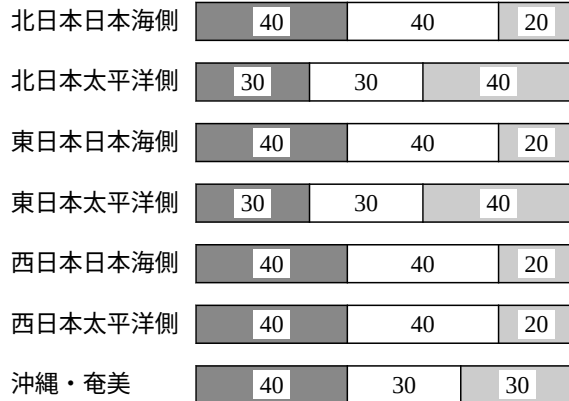
週別の気温は、1週目は、北日本で平年並または低い確率ともに40%、東・西日本で低い確率60%、沖縄・奄美で高い確率60%です。2週目は、北日本と沖縄・奄美で高い確率50%、東・西日本で平年並の確率50%です。3～4週目は、全国で平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

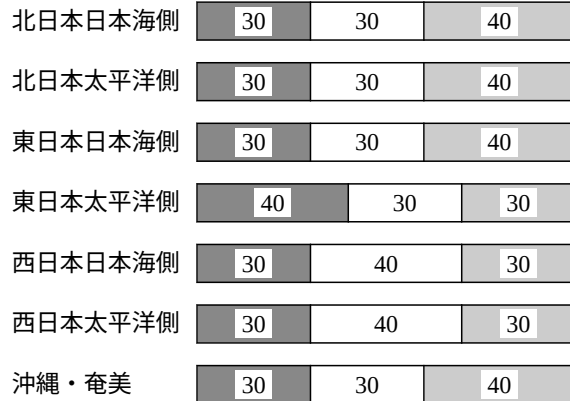
[気温]



[降水量]

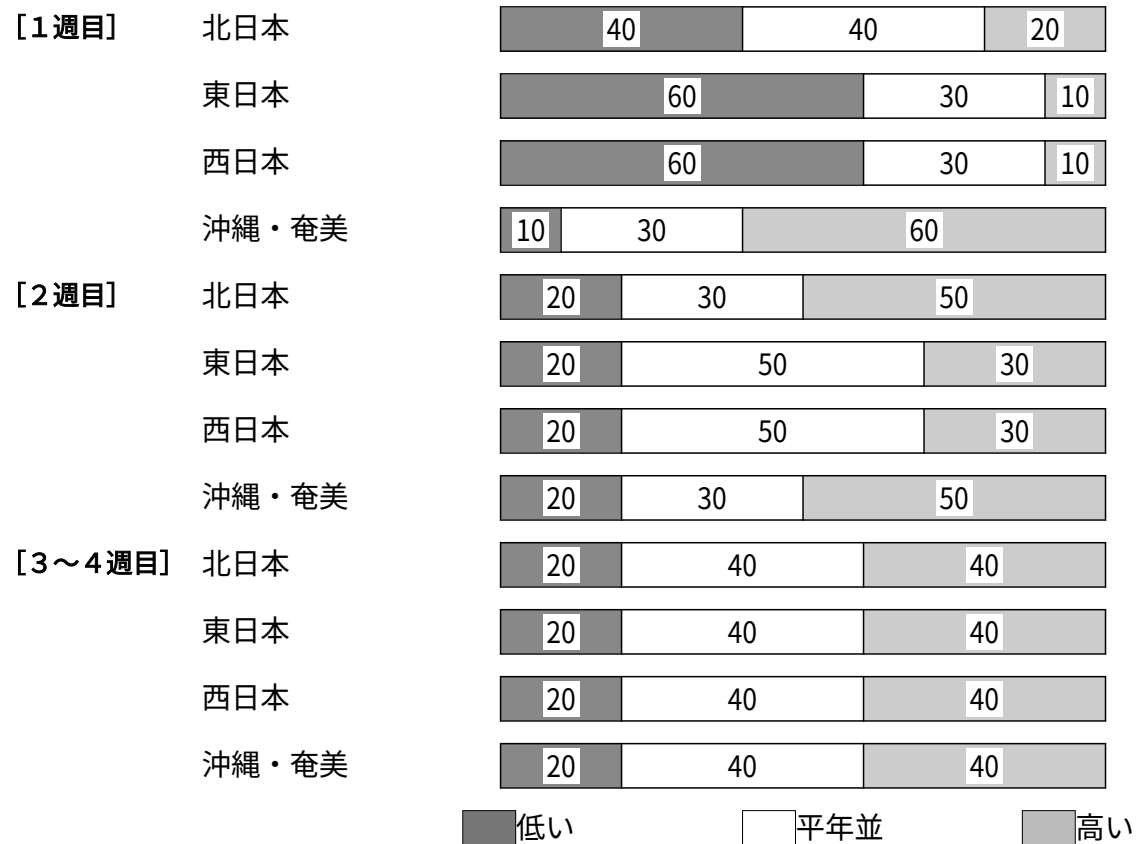


[日照時間]



低い(少ない) 平年並 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率（％）>



<予報の対象期間>

1か月 : 8月30日(土)～ 9月29日(月)
 1週目 : 8月30日(土)～ 9月5日(金)
 2週目 : 9月6日(土)～ 9月12日(金)
 3～4週目 : 9月13日(土)～ 9月26日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週木曜日 14時30分 次回は9月4日
 3か月予報：9月24日(水) 14時
 寒候期予報：9月24日(水) 14時

<参考資料（平年並の範囲）>

（１）1981～2010年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(℃)		降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
北日本	-0.4～+0.4	日本海側 太平洋側	84～114 83～112	95～106 94～108
東日本	-0.2～+0.5	日本海側 太平洋側	81～116 79～115	94～106 94～105
西日本	-0.4～+0.5	日本海側 太平洋側	79～113 70～121	95～105 93～105
沖縄・奄美	-0.1～+0.2		78～107	94～107

（２）この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3～4週目
北日本	-0.5～+0.7	-0.6～+0.7	-0.4～+0.4
東日本	-0.4～+0.7	-0.5～+0.8	-0.7～+0.5
西日本	-0.3～+0.6	-0.4～+0.6	-0.4～+0.4
沖縄・奄美	-0.2～+0.2	-0.1～+0.3	-0.1～+0.3

<参考資料（利用上の注意）>

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1981～2010年の30年間における各階級の出現率が等分（それぞれ33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10％以下や60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の2分の1より多い（少ない）ことを意味します。